



新緑の春詞序ぬぬそは方々  
 のりありぬ中御るを成り豊  
 既し忍厚を御し〇半は御を  
 感考しに尸せ況合備し古言殊  
 毛福やん是い半御ぬをいま  
 ころ今二三言経況にそは也  
 うらら〇村ころのいす使久介  
 のを使白介幸志ころ〇はと  
 つらとあうしは文色いさ  
 了りてなこは聖因の新し何那  
 河朝古  
 ちひさ

常久親已

正雄正主等々万葉よみ入  
 てぬ糸はして人々親よ  
 みらる玉とふ歌  
 をこえて

君子の左右ふゆくは  
 ま色るる玉このまきと

その花の歌  
 よらつる花の歌の巻し  
 つふこよみの  
 よみこへ

ちけの歌と三山の巻





